全国で育友会支部懇談会――

親身な支援体制に安心と期待

▶ 矢野学長（神奈川東・西支部）

◀ 髙野育友会長（神奈川東・西支部）

専修大学の教職員が全国に飛び、ご父母・保護者の疑問や質問に直接答える育友会（髙野雅夫会長）の支部懇談会が、猛暑の日本列島を縫って7月27日から8月31日まで開催された。北海道から沖縄までの64会場（67支部）に多数が参加した。

日髙義博理事長は群馬支部懇談会に、矢野建一学長は神奈川東・西支部懇談会（合同開催）に、髙野育友会長は神奈川東・西と東京A・B・C（同）、秋田、岩手の各支部懇談会に出席した。

トップを切り、生田キャンパスで7月27日に開かれた神奈川東・西支部合同懇談会には、ご父母・保護者約480人が参加した。髙野育友会長は多数の来場者に謝意を表し、育友会の役割と事業を説明。矢野学長は「ご父母・保護者のみなさまからいろいろなご意見をうかがえれば大学の新しい力になります」と述べ、個人面談やグループ面談への参加を呼びかけた。

来賓の宮岡孝之校友会副会長のあいさつに続き、廣石忠司経営学部教授、荒木敏夫文学部教授がそれぞれ学業や学生生活、就職活動について説明。

4年次生3人が参加し「将来に向けて、大学生活で何を学ぶべきか?」と題して行われたパネルディスカッションでは、教員を志望する吉田清香さん（文）、製薬会社から内定を得た中村一貴さん（文）、東南アジアの物流会社に就職予定の大里尚史さん（経済）の体験談にご父母・保護者の注目が集まった。

昼食をはさみ教職員による個人面談とグループ面談のほか、学内施設見学会が開かれた。

東京A・B・C支部合同懇談会は8月9日、神田キャンパスで開催され、ご父母・保護者280人が参加した。髙野育友会長、坂本武憲副学長があいさつした後、教職員が学業や学生生活、就職活動について説明した。

午後からは個人・グループ面談、就職・資格・教務グループ相談、学生相談室カウンセラーの個人面談が行われた。

▲ 真剣な表情で話を聞く参加者（東京A・B・C支部）

◀ 4年次生3人が体験談を話した（神奈川東・西支部）

参加者の声

神奈川東・西支部
就職活動どうなる

有賀　洋子さん

今年就職した長男は大学入学当初から就職を念頭に行動していたので、親はそっと見守っていれば良かったのですが、次男は正反対。単位数が危うそうだと今ごろになって真剣になっています。兄と全く個性が違うので多くの気がもめます。

長男の時より就職活動が後ろ倒しになるという

群馬支部
予備知識もらえた

田村　久美子さん

2年次になると親も就職を意識しますね。入学した喜びが大きかった昨年と違い、今回は真剣に就職活動についてのお話をうかがいました。

娘は卒業後は地元に帰ると言っていますが、どうなるか。そう願う気持ちはやまやまですが、親が先走ってはいけないと今は胸にしまっています。

こんなに親身とは

松山　陽子さん

ので、詳しい内容を知ろうと夫婦で初めて参加しました。パネル討論の3人の学生さんの話は三者三様で、それぞれに浮き沈みがあったことがわかり、参考になりました。

（商3・男子）

偶然に驚きました

栗本　孝　さん
節子さん

ラグビー漬けの息子は夏は合宿続きで、来年1月まで試合があります。家族で応援に駆けつけ頑張る姿を見守ってきました。

具体的な情報をたくさん知りたいというのが親の思い。「インターンシップへの参加が重視される」とか、3年次になる前に予備知識を得られて良かった。来年も参加します。（経済2・女子）

▶ 日高理事長もグループ面談に参加（群馬支部）

たが、ここにきて卒業できるか、就職活動をこなせるのか心配は尽きません。

個人面談の担当は偶然にもラグビー部の部長をされている先生。息子の就学状況通知書を見て「頑張るように伝えます」と言ってくださり感激しました。

入学式は東日本大震災で中止でした。日髙理事長の「卒業式は立派にやります」とのお話はありがたかったです。

（経営4・男子）

過干渉はいけない

安田　和喜さん
裕子さん

息子は自宅から通っていますが、大学でどんなふうに過ごしているのか詳しい話はしてくれないので気になります。大学紹介DVDが上映されましたが、学内での一日を学生自身がリポートするような内容のものも見たいですね。

私の勤務先で、内定に至らなかった学生の保護者から、不採用の理由を尋ねる電話が来るという話を聞いたことがあります。ちょっとびっくりですが、就職活動中の親の過干渉を戒める今日のお話にうなずきました。

（経営1・男子）

くれているのかと驚きました。自分の学生時代と比べると学生生活にしても就職活動にしても、サポートが手厚いですね。

娘は公務員に関心があり、3年次から始まる対策講座が待ち遠しい様子。「大学1、2年次はこれだと思うことに熱中することが大事」という学生さんの経験談を教えようと思います。（人間科学1・女子）

東京A・B・C支部
親同士の交流も

東方　千絵子さん

今年から長男がお世話になっています。高校の3年間があっという間でしたので、早いうちから大学のことを知っておこうと思い、出席しました。

息子からサークル活動や交友関係については話を聞きますが、学業面についてはあまりありませんでした。懇談会や個人面談を通し、授業や履修などの不安を解消することができました。

同じ学部の保護者の方と話すことができる貴重な機会でもあるんですね。とても有意義でした。

（商1・男子）

熊本支部
感謝！相撲で成長

福田　幸代さん

八代から来ました。息子はスポーツ推薦で専大に入り、相撲部で汗を流しています。寮生活で朝・昼・晩と自炊。けがに泣いたこともありますが、身の回りのことや礼儀作法、共同生活によって社会性が身につけられたのは、専大で相撲を続けてきたおかげと感謝しています。

福岡（博多）支部
貴重な親の集まり

宮地　直敏さん

息子は健康面で心配がありました。しかし、あえて東京に送り出し、一人暮らしをすることで成長してほしいという願いをこめました。住居はまかないのある学生会館。心配だった食生活はこれで安心です。

本日の個人面談では、就学状況についてお聞きしました。特に問題ないようでほっとしました。

私の学生時代と比べ、大学に親の集まりがあることに驚きでしたが、地方の親にとっては貴重な機会です。

来年は3年次になり、就職活動に取り組むことになります。もちろん来年も参加しますよ。

（法2・男子）

▶ 福岡（博多）支部の個人面談

これほどありがたい存在はありません。本日は就活のスケジュール変更についてなどをじっくりお聞きしました。

息子の夢は教員になって相撲を教えること。ぜひかなえさせたいと思っています。

（商3・男子）

募集！　育友会奨励賞

育友会では、一部在学生の創造的な取り組み（学業、スポーツ、社会貢献など）や成果を表彰する「第15回（平成26年度）育友会奨励賞」を募集している。

▽募集期間＝10月1日（水）～21日（火）
▽応募方法＝成果をまとめた文章（500字程度）を育友会事務局に提出
※詳細は育友会ホームページでご確認ください。

問 育友会事務局☎03・3265・6299